



陸上配備型のミサイル迎撃システム 「イージス・アショア」

政府は秋田市と萩市に配備を決定。強い電磁波を発生し10キロ圏内におよぶ。秋田市では演習場周辺に住宅密集地があり、学校などがある。地域に不安の声が募っている。ミサイル「SM3ブロック2A」を搭載予定だが、今年1月の実験では失敗している。



ステルス戦闘機 F35A

次期主力戦闘機として42機導入計画。最初の機体を三沢基地に配備。射程500キロの巡航ミサイルJSMを搭載する計画。F35Aの行動半径は最大1100キロ。単純計算で1600キロ。朝鮮の大部分が射程範囲内におさまる。「専守防衛」との整合性が指摘されている。F35Aの組み立ては三菱重工小牧工場。

☆米軍基地対策関連費 4449億円

☆思いやり予算は22億円増の1968億円

軍拡の実態その2 戦争法以後の状況

① 南スーダン駆けつけ警護、宿営地共同防衛の任務付与

2011年自衛隊PKO部隊南スーダンへ派遣。2016年7月首都ジュバで大規模戦闘。2016年9月19日戦争法成立。PKO派遣5原則違反にあたるにもかかわらず、11月15日「駆けつけ警護、宿営地共同防衛」の新任務付与。17年5月撤収完了。



駆けつけ警護の訓練 16年10月 岩手

② 米軍などの「武器等防護」・米艦防護

海上自衛隊の最大級の護衛艦「いずも」は、2017年5月1日、神奈川県にある横須賀基地を出港し、アメリカ軍の補給艦と合流し、「米艦防護」の任務を行った。千葉県の房総半島から四国の沖合にかけての太平洋で、周辺の警戒監視などにあたる。アメリカ軍の補給艦はその後、四国沖で護衛艦と離れ、北朝鮮からの弾道ミサイルの発射を警戒するため日本海に展開しているアメリカ軍のイージス艦に燃料を提供した。



米B-1爆撃機と訓練する
F15 F2

